

## 9/25 (水) ホンキ×ト×ヤルキ

Banjumrung 滞在 13 日目 (残り 2 日)。帰国まであと 7 日。

8 時半前にふと目を覚まして、慌てて台所へ行き、パットゥーンさんから「ご飯はセンターに行ったらあるよ」と言われた朝でした。何だか日に日に起床時間が遅くなっているような気がします…

そして今日は風呂場でモツ (アリ) が大発生していました。

という訳で、少し遅めにセンターに行き、久しぶりに豚血豆腐入りスープを食べましたが、もうこの味に慣れきってしまった自分が恐ろしいです (美味しいんですが)。

今日も団体様が来ていて、レクチャーしている人が見慣れないなあと思っていたところ、どうやらスウリンからの政府関係者らしいとのこと。聞いている皆さんも恐らくスウリンの方なのでしょうが、特別講師? という形で住民以外の方がレクチャーしているのは初めて見ました。

その後、チャーを飲んだり (私は見ているだけ) おばちゃんたちと雑談しているところで、パットゥーンさん登場。暇そうにしている私たちを見て、何かをやるからおいでとジェスチャーしていたので「今! ?」と思いつつもホイホイついて行きました。

到着したのは、とあるお宅で、今まであまりお会いしたことのない Banjumrung の人たちがたくさん集まっていました。

指差し会話帳や英語で雑談し、和んだところで、言われるがまま室内に通されると、そこには座禅を組んでいる 10 人ほどのお坊さんが!!

私たちより一段高いところに座っているお坊さんの前には、たくさんの料理が並べられていて、聞けば「徳を積む」ということで合掌したり托鉢を行うのだそうです。

正座して念仏 (タイ語。もちろん聞いたままをマネするだけ) を唱え…足が限界になるまでお経? を聞いて…

退出を許された後は、托鉢の壺のようなものに、1 人 1 個の器に盛られたご飯を少しずつ分け入れることをしました。托鉢は、お坊さんが持っている壺に食べ物を入れますが、今回は集団なので、少しずつ全員分に食べ物を入れていくことで対応しているんだなあと考えていました。

私の曾祖父もかつてお坊さんで、60 歳過ぎてから出家して自分のお寺を持ったツワモノだったそうですが、もし今もまだ生きていたとしたら、この話をしたら興味津々だったんじゃないでしょうか。同じ仏教徒でも、日本のお坊さんとはちょっと違うんだなと思わずにはられません。もちろん、日本の宗教とタイの宗教では、色んな宗教が混ざったりして別物扱いだったりするのですが…

部屋を出てからは、お坊さんたちが食事をとり始めるまで待機でした。

ココナッツアイスをいただきましたが、何故かアイスがパンに挟んであって、これがまた意外と合ってて美味しかったです。ただ、もち米までパンに挟むという発想はなかった…(´д`)

ようやく昼食だ! ランチだ! となり始めた時、ふと時計を見るとまだ 11 時半。朝ごはんを食べてからちょっとしか経ってませんでした…。

それでも、お坊さん用ということでメニューも豪華で、とりあえず好きなものを食べつつも、取り分けられたカニをまた貪り食べていました。食べてばかりなので体重計がしんばいになる今日この頃です。

そして途中、後ろからいきなり水をかけられるという珍事件が!

どうやら、お坊さんが聖水 (ナムムン) をかけて回っているようで、ワラ? でできたハタキ棒のようなものであちこちの人に水を振りまいていました。

ちなみに私は食器を下げに行った時も、褒められついでに頭から水をぶっかけられました (笑)

びしょびしょのハタキで頭を叩かれたのですが、やったのはお坊さんではなく村の人のお遊びみたいなものだったので、ご利益的にはノーカンなのかもしれません。

ひたすら飲み食いした後は、センターに寄ってから home に戻ってお昼寝タイムでした。

…が、やたら庭が騒がしいなあと思っていたところ、パソコン作業をしていた希呼がやってきて一言

「お坊さんが倒木をチェーンソーで切ってた」

(° 皿°)!!!!???

ダッシュして見たら、確にお坊さんたちが庭の倒木を小さく切っている…!

一体何があるのか気になったのですが、女性がみだりにお坊さんに話しかけてはいけないと聞いたことがあったので、指さし会話帳を貸した希呼に託すことにしました。

昼寝の後、聞いてみたところ、お坊さんたちが切っていた木は家具の材料になるそうです (by オータニさん…ポンさんのお父さん)

ところが後にポンさんに聞くと「木炭」という答えが返ってきて、「彼 (オータニ) は酔ってたんだよ hahaha」と大笑いでした。結局どっちが本当か分かりませんが…半分裸のお坊さんたちはとてもタフだなということは理解できました。

6時頃までのんびりして、home でパットゥーンさんのご飯をいただきました。

ピンク色の、何か刺身の味噌和え? のようなものが出てきましたが、クラゲのようなイカのような、美味しいけど不思議な食感でした。そして、ご飯を食べながら飛び交う蚊を叩きつぶす作業…

すると、ちょうど食べ終わった頃にポンさんがやってきて「今からしゃぶしゃぶ食べに行くから来い」と。

お母さん (パットゥーンさん) 的には「えっ?」という感じでしたが (笑)、ターさんも一緒に家族みんなで車に乗って、2 回目のご飯を食べに行きました。

チムチョムというタイ版しゃぶしゃぶは、野菜や肉や春雨などを小さい鍋に入れて煮込み、甘辛いタレにつけて or 器にタレを入れて食べるスタイルで、むしろ日本の鍋に近い感じがしました。しかも鍋そのものが小さいので、野菜なんかはもはや詰め込む勢いでした。

そして何回目か分かりませんが、やっぱりタイ人はお酒が好きだなあと思いました(^O^)

このチムチョムも美味しくて、さっきご飯食べたばかりなのに、またまたお皿をいっぱいにする私…

浅山ちゃんから「2 回生の間で、先輩は大食いだってウワサ流れてて、タイに来てそんなに食べてた感じしないから嘘だーって思ってたんですよ。でも今の様子見て本領発揮したんだなって」という衝撃のコメントをもらい、『食いイージー井上』なる称号が与えられました。

井上はね、やればできる子なんです。ただ、タイ料理を調子乗って食べると、トイレとお友達にならなきゃいけないので自重してたんです。つまりそういうことです…。

また、ポンさんと明日のことについて話していましたが

奥さんがトムヤムクンを作ってくれるらしく「ユウキ (有田さん) はトイレにこもってた (訳: 辛かった)」と、ナンテコッタイ! な情報も飛び出し、私たちも日本食をいよいよ振舞うことに決まりました。午後からマーケットに買い出しだそうです。

そしてポンさんたちから「天ぷら食べたい」「たこ焼き作れるか」「ポッキーがいい」などと無茶ぶりもありました。とりあえずポッキーだけは作れないから「工場に行ってください」と希呼が笑い出す始末…小麦粉で作れないかなあと、今からレシピ探しに奮闘です。

明日も元気に頑張ります!